

東海大学との産学連携包括協定締結に関するお知らせ

明治アニマルヘルス株式会社（本店：熊本県熊本市、代表取締役社長：廣瀬和彦、以下「明治アニマルヘルス」）は、8月2日、東海大学〔熊本キャンパス・阿蘇くまもと臨空キャンパス〕（所在地：熊本県熊本市・熊本県上益城郡、学長：松前 義昭〔まつまえ よしあき〕、以下「東海大学」）と産学連携包括協定を締結しましたのでお知らせいたします。

本協定は、東海大学と明治アニマルヘルスが「東海大学産学連携センター」*を通じて連携することによる、相互の研究活動及び東海大学における教育活動の発展を目的としています。

【連携・協力の内容】

- (1) 産学連携による共同研究等の成果を実用化・社会実装等のために活用すること
- (2) 研究成果を社会還元すること
- (3) 共同研究の実施とそれに伴う研究者の交流
- (4) その他、本協定の目的に資する事業の実施

KMバイオロジクス株式会社傘下の明治アニマルヘルスは、包括連携による産学の強固なパートナーシップの形成により、研究開発及び人材育成の推進、並びに国際・地域貢献の強化に向け取り組んでまいります。



*2024年4月1日、東海大学は熊本キャンパスに、東海大学の持つ研究シーズと熊本県ならではの資源を生かした研究プロジェクトを推進する「産学連携センター」（アグリサイエンスオープンイノベーションセンター／通称=ASO）を設置しました。詳細は同大学の発表をご確認ください。

以上